



おのみ



令和4年度 2月号
志布志市立尾野見小学校

弱い心に打ち勝とう

学校長 宗岡 克英

3月11日(土)に実施されるおのみピック持久走大会に向けて、朝の体力づくりの時間に子供たちは校庭を走っています。子供たちは、それぞれ自分の目標を掲げ、練習に取り組んでいます。私は、5周走ることを目標に設定して、子供たちと一緒に走ることにしました。

1周目。体はぎこちないが、冷たい風が頬に当たりとても気持ちが良い。2周目。真面目に走っている私に気づいた子供たちが勝負を挑んでくる。負けたくないで私は、少しペースを上げ、しばらくの間は子供たちと並走する。しかし、「後できつくなるかもしれない。」と思い直し、勝負をしないことにする。勝ちほこった顔で、後ろを振り返りながら走る子供たちを見送りながら、自分のペースで走る。3周目。体が温まってくる。関節に潤滑油が注入されたように体がスムーズに動くようになってきた。何周でも走れそうだ。4周目。もう防寒着が必要ないほど体が熱くなってきた。防寒着を脱ぎ、それを片手で持って走るが、とても走りにくい。校庭の片隅に防寒着を放り投げる。身軽になった。ラスト5周目。膝に少し違和感を感じる。



「膝に痛みがきたらどうしよう。」自分の中の弱い心が頭をもたげてきた。「練習初日だから無理をしなくても良いかも。」弱い心がどんどん主張してくる。「目標の5周は達成しなきゃ。」強い心も言い返す。「自分が何周走ることを目標にしていたことなど誰も知らないからもうやめよう。」私は、走ることがきつくなってきたので結局4周半で走ることをやめた。自分の弱い心に負けたことは誰も知らない。でも自分は知っている。「膝が痛い」と走れなくなるからな。」と無理やり自分の心を納得させた。



きっと子供たちも走りながら、私のように心の中で自分と話をしていることと思います。走りながらだんだんきつくなってくると、いろんな気持ちが湧き出てきて心の中で葛藤が始まります。子供たちは、走ることを通して自分と対話し、多くのことを学ぶことができるはずで。持久走大会に向けた毎日の練習で、少しずつ自分の中の弱い心に打ち勝ち、自分が掲げた目標を達成することを期待します。

持久走大会まで後約3週間となりました。当日は、保護者や地域の皆さんの温かい御声援で子供たちを励ましてください。

